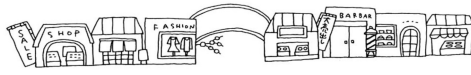
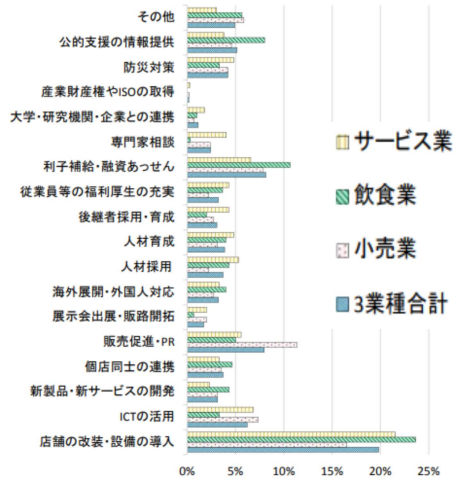


# 商店リニューアル支援～区内施工業者活用なら補助引き上げを提案～

## 荒川区に期待する商業振興施策



荒川区に期待する商業支援策で断トツ多いのが店舗改修・設備補助となっています。

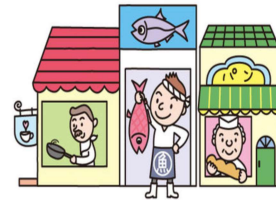
現在の小規模事業者設備補助は一般、百万円限度に4分の1補助になっています。

区内施工業者を使った時は補助を2分の1にするなどプレミアムをつけたらどうかと提案。

産業経済部長が検討したいと答弁しました。今後の対応に注目したいと思います。

消費が低迷している中で、街場に活気が戻るようにしたいものです。

また、関係者からは手続きが面倒という声も紹介し、簡素化も求めました。



区政区議会報告・地域情報を週刊で発行しています

日本共産党荒川区議員

# 小林行男

ご意見をお寄せください

## 区政ニュース

NO. 724  
2019. 3. 24

区議会控室  
TEL 3802-4627  
FAX 3806-9246  
Email: arajcp@tcn-catv.ne.jp

ホームページ  
http://www.tcn-catv.ne.jp/~jcpa/

東尾久相談室  
東尾久2-37-3  
TEL・FAX 3895-0508

## 高崎市まちなか商店リニューアル助成事業補助金



補助金率は対象の工事に必要な経費の**50%**

## 高崎市の「まちなか商店リニューアル助成事業」

2014年に創設された。工事の発注先、備品の購入先を市内の業者に限定し改装等の費用の2分の1、100万円を限度に助成するもの。商店が元気になり、これまでの工事総額は約40億円で工務店などの仕事づくりにも貢献し市内経済に好影響を与えている。



2018年度は2回目の利用もできることになり、昨年4月2日に申請受付、27日に予算3億円(申請374件)に達して受け付けを終了した。リニューアルの効果を実感し2回目の利用が約7割となった。

## なぜ高い!?国民健康保険料!

日本の医療保険制度は、すべての国民が何らかの公的医療保険に加入し、お互いの医療費を支え合う「国民皆保険制度」です。国民誰もが、保険証1枚で、どの医療機関にもかかれる制度であるはずですが、国民健康保険料はこの間、毎年毎年値上げが続き、協会けんぽ、組合健保、共済などの他の公的医療保険と比べても大きな較差が生じてきています。

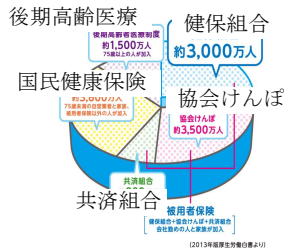
荒川区でも「払いたくても払えない」滞納世帯は25%を超えています。例えば、年収400万円、

年収400万円 夫婦子ども二人の場合	
2018年度	保険料年額
国民健康保険料(荒川区)	426000円
協会けんぽ	193000円

夫婦、子ども二人で年間約42万円あまりです。同じ条件で協会けんぽでは約20万円です。滞納が続けば保険証の制限なども・・・命にかかわる問題です。



加入する保険によって負担や給付に大きな格差があるのは公的医療保険の趣旨に反するのではないのでしょうか。また、国保には他の医療保険にない子どもなど世帯人員が多いほど保険料が引きあがる「均等割」あり、逆進的な負担は子育て支援とは逆行しています。それだけに国や東京都、荒川区が支援していくことが求められるのではないのでしょうか。



## 法律相談会



毎月第3火曜日(午後6時から)北千住法律事務所の弁護士による法律相談会をおこなっています。できるだけ事前にご連絡ください。

4月の相談会は、区議会議員選挙中のため、**4月24日(火)**

尚、お急ぎの方は、弁護士事務所と連絡して、ご相談できますのでお気軽に声をかけてください。

# 区内業者の実態からも消費税増税はNO！

昨年5月1日から9月30日まで荒川区中小企業経営協会にお願いして荒川区商業事業者調査を行い報告書を今年1月にまとめています。

『下町風情溢れる地域密着型の商店街が、地域コミュニティの核としての役割を担ってきました。しかし、社会経済情勢とともに、商店街を形成



する商業事業者を取り巻く環境は大きく変化しています。また、商店街が形成されていない地域の商業事業者も同じく、多様な環境の変化に直面していることから、区には区内全域の商業事業者の現状や課題を把握し、個々の状況に合わせたきめ細かな対応を行っていくことが求められています。経営状況や区への要望等に関する

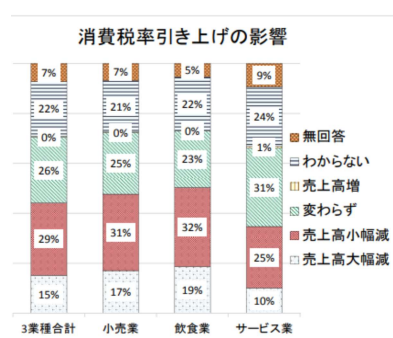
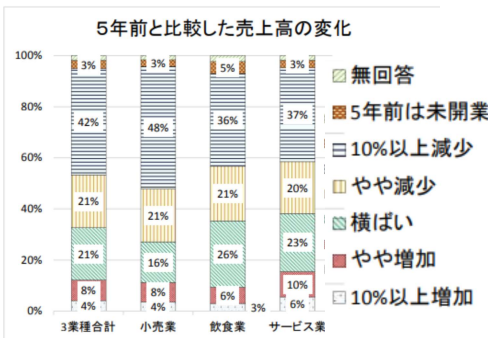


	3業種合計	小売業	飲食業	サービス業
調査対象事業者	3,053社	1,211社	833社	1,009社
調査対象外 (はがき不達等)	310社	105社	93社	112社
調査実施事業者	2,743社	1,106社	740社	897社

調査を実施し、区の商業振興施策に活用していく』

荒川区がこの目的にそって新年度予算に施策を具体化することが求められました。

5年前と比較した売上高の変化では10%以上減少42%、やや減少を合わせると62%です。5年前と言えば、消費税が5%から8%に上がった



時です。また10%の影響では減少が44%、わからないが22%で先行きが見えず不安な状態でもあります。

荒川区は消費税増税を容認し、今後も企業相談員を派遣し対策をすすめていくと答弁していますが、自ら行った調査からも「10%」は中止を求めるべきではないかと質しました。さらに消費税増税や東日本大震災の影響で大幅に事業者が減少した上に、消費税の負担が重くのしかかっている実態も示しました。



## 元気に旅立て、荒川の子どもたち



18日、区立尾久幼稚園の第70回修了式に参加。

修了児16名(男7名、女9名)元気いっぱいの歌声。

「かっこいい一年生になります」など、小学校での目標なども語られる。

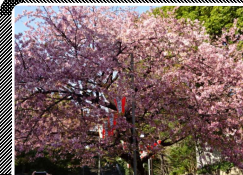


20日、赤土小学校第95回卒業式。75名の卒業生。進学状況は、九中へ35名、区内外区立中学校へ15名、国立中学校へ1名。私立中学校へ24名。みんながんばれ



19日、第九中学校第66回卒業式。卒業生78名(通常学級63名、夜間学級15名)九中には、夜間学級があります。毎年、一緒に卒業式を迎えます。夜間中学は貧困とか不登校などで昼間の中学校で学べなかった人たちが通っています。いつでも学びの場を保障すること。学ぶということは人生を豊にすること。大切なことだと思います。

今年、埼玉、千葉に公立夜間中学が開校。全国で33校になるそうです。



○春らしい陽気になって来ました。上野公園の入口の桜(左写真)も花いっぱい観光客もたくさんの人手です。先週も書きましたがあらゆる食品などが値上げです。さらに油なども、さらに広がって行くのでしょうか。暮らしに直結するだけに大変です。あらためて消費税増税はきっぱり中止させたいものです。